

# おおば利信

## 議会だより

第26号

令和6年8月発行



発行者 出雲市議会平成クラブ 〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲 1175 番地  
編集者 大場利信 電話/FAX: 0853-72-1611 メール: ohba@ohba-toshinobu.com

公式ホームページ：  
<http://ohba-toshinobu.com>

大雨災害をもたらした梅雨末期の豪雨が過ぎたら連日35度近くの猛暑となりました。当分過ぎにくい日々が続きますが、元気で乗り切りましょう。

6月議会は7月2日に終わりました。この議会だよりでは、補正予算や一般質問のほか、執行部から報告された主なものについて報告いたします。

### 第1回補正予算総額：22億9,000万円

#### ア 定額減税（国の制度）

今年の6月から定額減税（所得税）が実施されました。これは「政府がデフレ脱却のための経済政策」として実施されるものです。物価高騰で家計のやりくりが大変な中、一時的に「手取り」が増えます。

#### （減税額の内容）

- ・所得税：納税者本人3万円 + 同一生計の配偶者又は扶養親族1人につき3万円
- ・市民税：納税者本人1万円 + 同一生計の配偶者又は扶養親族1人につき1万円
- ・減税の実施方法：会社や事業者で給与から減税額を控除します。



#### イ 今議会で議決した低所得世帯支援給付金 および定額減税補足給付金（14億円）

#### （給付の内容）

##### ○ 低所得世帯支援給付金

令和6年6月3日時点において、令和6年度住民税所得割が課せられない者のみの世帯：1世帯当たり10万円を給付。ただし、令和5年度に臨時特別給付金（3万円）を受給した世帯は7万円を給付。また、この世帯に18歳以下の児童がいる場合、児童1人当たり5万円を加算

##### ○ 定額減税補足給付金

上記アの定額減税しきれない者には不足額（1万円単位）を給付

##### ○ 支給の今後のスケジュール

7月中旬頃に申請書の提出を求め、8月下旬頃に給付を開始。

→ 詳細を本庁の福祉推進課に聞き、手続きを忘れないようにしてください。

## ウ その他の事業の予算（主なもの）

- 市制施行20周年記念式典開催事業（440万円）
- 出雲市版デジタル地域通貨導入事業（9,950万円）：年度内完成を目指す。
- 農業分野の特産振興総合対策事業（新規。1億7,771万円）  
これは、県の事業採択を受けた者が行う施設整備に対する補助です。
  - ・ぶどうハウス等の整備
  - ・産地創生事業（アジサイ、ぶどう、かんしょ、出西しょうが）
  - ・水田園芸拠点づくり事業（アスパラガスのハウス新設、ミニトマトの栽培設備・出荷機械導入）

## 請 願

訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出に関する請願→**不採択**この請願を巡っては、県議会および各市町村議会で判断が異なっていますが、出雲市議会は不採択としました。

### 理 由

この請願を巡っては、県議会および各市町村議会で判断が異なっています。出雲市議会は次の理由から不採択としました。

- ①訪問介護の基本報酬については、同一敷地内あるいは隣接する建物等に居住する者への訪問介護の基本報酬を適正化（減額）するものです。
- ②介護職員の処遇改善加算の加算率が引き上げられ、処遇改善がなされています。
- ③中山間地域居住者への継続的サービス提供に対する特定事業所加算が新設され改善が図られています。

## 子育て世代への医療費助成を高校生まで拡充

未就学児：従来通り無償

小学生、中学生、**高校生**：1割負担。

ただし、負担限度額は、外来1,000円/月額、入院2,000円/月額で負担は残ります。なお、薬局等は無料です。

**高校生**は今まで大人と同じく

3割負担でしたが、**令和7年4月1日**から負担が軽減されます。



## 6月議会での一般質問

### 出雲市の人口対策について

（答弁：飯塚市長、間島尚志総合政策部長、角 健二商工振興部長）



### おおばの質問

- ①出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略（令和2年度～令和6年度）の目標のうち、  
a **社会増の目標は1,600人**。令和2年度～令和4年度の実績は864人であるが、目標に近づける方策は？

### 答 弁

引き続き、雇用の場の確保、出雲の魅力の情報発信、移住フェアへの参加、UIターン希望者への就職相談、住宅購入に対する助成金の交付、地元の大学・専門学校と連携した地元進学・就職の促進、外国人住民の定着に向けた取り組みに取り組む。

### おおばの質問

- b **出生数の目標は8,000人**。令和2年度～令和4年度の実績は4,221人であるが、目標に近づける方策は？

### 答 弁

若者が定住するための多様な雇用の場を確保し、その上で「出会い・結婚」、「妊娠・出産」、「子育て施策（保育所や児童クラブ）」、「教育」と各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援に取り組む。

### おおばの質問

- ② 国の有識者で構成する人口戦略会議は、**若年女性人口（20歳～39歳）**の社会減（人口流出）および自然減（出生率の減）を基に、「**消滅可能性自治体**」を公表した。出雲市は消滅可能性自治体に分類されていないが、これについての見解は？

### 答 弁

人口戦略会議は、2020年から2050年の向こう30年間で、若年女性人口が50%以上減少し、出生率が低下すると見込まれる744自治体を消滅可能性自治体として公表した。出雲市の場合、2050年時点の若年女性人口の減少率は22.4%と推計され、**消滅可能性自治体に含まれていないが、今後も気を引き締めて各種施策にしっかり取り組んでゆく。**

### おおばの質問

- ③ 子育て世代の女性への応援として**男性の育児参加**も重要と考えます。市長は令和4年8月24日に**イクボス宣言**をされましたが、市役所における実績は？

### 答 弁

令和4年10月に「産後パパ育休」制度、育児休業分割取得制度を導入。市役所男性職員の育児休業取得率は年々向上し、令和5年度は71.9%で、行動目標の20%を大きく上回っている。今後も市内企業・事業所の先導役として役割を果たしたい。

### おおばの質問

- ④ 出雲市の産業の振興や人口を考える上で**外国人の存在**は無視できません。民間やNPOとの連携を含め、共生施策を充実すべきと考えます。

### 答 弁

本年3月末時点で4,553人。10年間で2.3倍に増加している。本市の産業を支える貴重な人材であり、地域の担い手でもある。就職支援や日本語研修の支援を行うとともに、新たに「外国人就職支援ネットワーク会議」を設立した。また、貴重な高度IT人材（東欧系）の確保も進める。

### 斐川まめながタクシーの運行の拡充を

（答弁：間島尚志総合政策部長）

### おおばの質問

斐川まめながタクシーの午後の便の運行について、運転手不足の中、今年度から設けられたバス・タクシー運転手の2種免許取得費の助成制度を活用し、要望の多い午後の便（帰りの便）の運行を実現して欲しいと考えますが、これについて伺います。

### 答 弁

午後の便の時間延長に関する協議はこれまで運行事業者と協議を重ねておりますが、運転手不足のため実現には至っておりません。これからも「二種免許取得費助成制度」を紹介しながら協議を重ねていきたい。



### 地域の話

#### (1) いりすの丘に関する住民説明会

- ・事業内容の説明：6月26日：斐川文化会館
- ・事業者：出雲いりすの丘合同会社（大社町北荒木）渡部 稔代表

○事業内容：宿泊エリア（ヴィラ、個別棟）や温泉、カフェエリアやツアー・イベントエリアなど6つのエリアを開設時期も含めて提案されています。

○事業者及び市への会場からの質問・意見

- ・休園となったことの検証はされているか
  - ・資金計画はどうなっているか
  - ・国内外観光客の誘客策の内容
- など多くの観点から質問が出されました。

地元として新たな事業者へ期待をしております。可能性を秘めた場所でありますので、観光の核となるよう地元、温泉組合、商工会、行政が一体的となって盛り上げたいと考えます。

○今後の計画

市としては、出雲いりすの丘合同会社と協議・審議のうえ、9月議会に土地の減額貸付議案、建物の無償貸付議案を提案することとしていますが、持続可能性の観点から十分な審議を期待しています。



## (2) 都市計画マスタープランの見直しのための地域別懇談会が開催される

- ・都市建設部都市計画課からの事業内容の説明：  
7月21日：荘原コミセン

- ・現在の都市計画マスタープランはH22年に策定されています。今回の見直しは、その後の状況の変化に対応するもので、**概ね20年後の都市構造（まちづくり）を定める**もので、市内13地域で開催されています。
- ・斐川地域では、**地域都市拠点**として、新川中央線沿いを中心に、出西→上直江→直江市街→上庄原→荘原市街→出雲空港西までの地域で都市計画の用途地域が定められています。
- ・現在の斐川地域は、空港があり、先端産業も立地し、優良農地があり、多くの外国人が住む人口増加地域であります。一方、児童や小学生が減少する地域もあります。そのような中、調和した土地利用や都市基盤整備も求められています。
- ・マスタープランは**令和7年半ばの完成**を目指しています。これからも意見表明の場があると思います。地域の皆さんの意見が反映されたものになりたいと思います。



(7月17日 荘原コミセン)

## あしがき

今年も出雲地方は水害に見舞われました。県道大社日御碕線で道路地盤の崩落事故があり、復旧には相当の時期がかかるとされています。う回路が早く設置され、日常生活や観光が元通りになるよう、県および市当局の尽力を求めます。また、斐川の直江新川アンダーパスでも乗用車が水没する事故がありました。ここは、浸水対策事業が計画され令和7年度に工事されることとなっています。それまでは、早めに交通規制をするなどの対応が求められます。

※ページ数に限りがあり一部を抜粋して掲載しております。  
詳しくはホームページを閲覧して頂ければと思います。

おおばとしのぶ

検索

問い合わせ先

〒699-0552 島根県出雲市斐川町中洲 1175 番地  
電話 / FAX : 0853-72-1611 メール : ohba@ohba-toshinobu.com  
公式ホームページ : <http://ohba-toshinobu.com>